

DFARS/NIST セキュリティ要件適合のための体制構築支援 (コンサルティング)

防衛基盤整備協会 (BSK) は、米国防省 (DoD) が契約企業に要求する NIST 基準、そのセキュリティ要件への適合が不可欠となった企業の皆様に体制構築支援 (コンサルティング) 事業を開始しました。

背景

米国は、増加する一方のサプライチェーンからの機微情報の漏えいを極めて憂慮しており、非連邦政府組織を対象にした情報セキュリティ基準 (NIST SP800-171) を策定しました。DoD は、米国防省調達規則 (DFARS) により管理対象防衛情報 (CDI) が含まれる契約には、NIST SP800-171 を適用することとし、下請け企業にも同様の要求を規定したため、DoD と直接契約のない日本企業も米国企業との契約に CDI が含まれる場合、適用対象となります。

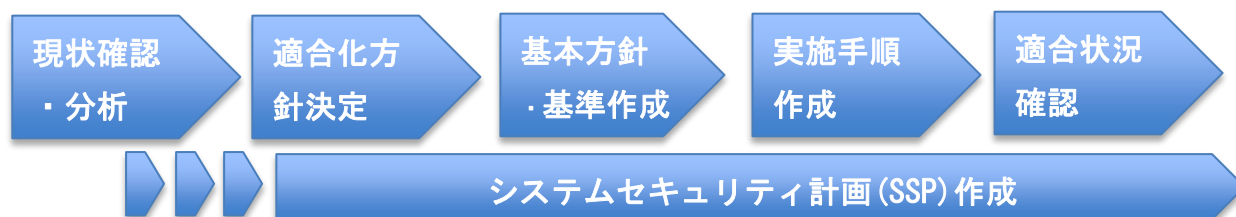
NIST SP800-171 とは

米国標準技術研究所 (NIST) が定める情報セキュリティに関する技術標準の一つであり、管理対象非機密情報 (CUI) を保護するために契約相手方や非連邦政府の情報システム及びネットワークで CUI の機密性を確保するために策定されたものです。14 のファミリーに分類された 110 個のセキュリティ要件が記載されています。その内の 7 割が技術的要件であるとともに、その要件がパフォーマンスベースで記載されているため、具体的に何をすればよいのか不明な点が多く、IT 専門家や米国規則に詳しい技術者がいなければ適合が困難であると思われます。

※CDI と CUI : CDI は、DoD により指定された CUI として区分される情報で、DoD は CDI の機密性を守るために契約企業に対し NIST SP800-171 への適合を要求しています。

BSK は、「NIST SP800-171 セキュリティ要件解説書」、「適合状況確認シート」を作成し、具体的な対策を示すことにより、難解な NIST 基準への適合を支援します。

コンサルティングの流れ (3か月～4か月)



※DoD は、NIST 基準に適合していることの有無を SSP の作成により表明するよう求めています。

担当部署

(公財) 防衛基盤整備協会
情報セキュリティ部 情報セキュリティ支援課

担当者

小島、上野、五十嵐
Tel : 03-3358-8704